



卒業式に向けての準備を・・・

3月5日（金）より、卒業式の全体練習を始めました。

新型コロナウイルス感染防止対策として、来賓はPTA会長のみとさせていただきます。1～5年児童も参加いたしますが、終始マスク着用、座席の間隔も広めにとつての参加となります。よびかけも実施いたしますが、短縮バージョンとし、こちらでもマスク着用といたします。卒業証書授与のみは、卒業アルバム用の写真撮影もありますので、マスクを外すことといたします。

なにかと、制約の多い卒業式となりますが、子どもたちの卒業を心をこめてお祝いしたいと思い、練習にも熱心に取り組んでいます。

主役の6年生は、学級での練習のおかげで、全体練習でも他の学年児童のお手本となる姿勢、声の大きさなど、先生方から褒められることしきりです。さすがに、本校の最高学年であるなど今更ながら感心させられます。音楽の外部指導者として橋本さんが、児童のピアノ伴奏をやさしくサポートしてくださっています。おかげで、伴奏する児童は、安心して取り組んでいます。

卒業生には、6年間の集大成となる大切な式となります。厳粛な中にも、活発で元気の良かったみなさんの素敵な姿を保護者の皆様に披露できることを期待しています。



【1～5年生のみなさん】



【6年生のみなさん】



【ピアノ伴奏】

あれから10年過ぎました

「3.11」から10年が過ぎました。その時の余震とされる大きな地震が、2月13日の夜にありました。改めて、「忘れてはいけないことなのだ。」と感じさせられました。地震による建物の倒壊、津波による被害など、自然の力の大きさの前には、人間の無力さを感じないわけにはいきませんでした。

特に福島県の場合は、それに伴って起きた原子力発電所の事故が、今も大きな影響を及ぼしています。原発周辺の地域では、いまだに帰還できないところがあるほどです。心情を察すると、本当に残念でならないことでしょう。

10日の全校朝の会では、当時の様子を児童に話しました。屋外で活動できる時間が限定されたり、除染活動を行ったり……。あの時の経験が、昨年度末から今年度にかけて流行している新型コロナウイルス感染防止対策に、役立っているなど実感しております。

危機管理は、いつの時代も一番大事にしなければならないことです。「安全・安心」な学校生活が、いの一番に求められます。マスク着用の生活が当たり前となりました。もちろん、日々検温する、手指の消毒に心がけるといふ習慣も子どもたちは身に付けました。

もう少しの辛抱で、マスクを外し、自分の考えを堂々と話せるような授業が、一日でも早くくることを願ってやみません。